

## 令和7年度 2学期終業式式辞

皆さん、2学期お疲れ様でした。

今日は、終業式であるとともに、学校においては、令和7年の締めくくりでもあります。

令和7年を振り返り、多方面で素晴らしい活躍がありました。

まず、放送部が 58年ぶり NHK杯全国大会に出場、また、水泳部と柔道部が、近畿大会という大きな舞台で活躍を見せてくれました。

さらに、本校104年の歴史の中で初めて、3年生の山縣さんが、ウエイトリフティング競技でインターハイチャンピオンに輝くという快挙もありました。学校としても初の記録であり、本校の“歴史”に刻まれた瞬間でした。

この様な活躍から、改めて皆さんの無限の可能性を強く感じるところです。

これらの成果に共通するのは、特別な才能だけではなく、日頃から自分の課題を見つめ、やり方を変え、壁に当たっても行動を止めなかつたことです。

今、ここにいる皆さんの中にも、視点を変え、前向きに一歩踏み出すことで、さらに力を発揮できる人がたくさんいると信じています。

世界的な自動車企業「ホンダ」を一代で築いた本田宗一郎さん。本田さんは社長でありながら仲間に経営を任せ、常に作業着を着て、エンジニアと一緒に失敗を重ねてきた人でした。そんな本田さんが残した有名な言葉に、

### 「挑戦しないことが、いちばんの失敗である」

結果よりも一歩踏み出す勇気を大切にというメッセージです。

皆さんも、冬休みは、自分らしさの発見と新たな挑戦づくりに踏み出してはいかがでしょうか。

3学期始業式で、輝く皆さんに会えることを楽しみにしています。